



私たち地域おこし協力隊です！**特別編**

「中山町にしかない魅力に、
私たちは気付いています♡」

前田 真莉子

左治木 悠子

■地域おこし協力隊として中山町に着任してくれた左治木悠子さんと、前田真莉子さん。着任して1年が経ちました。今回は、協力隊のお2人に、活動を振り返って、いろいろなことをお伺いしていきたいと思います。

まずは、どんな1年でしたか。

左治木 怒涛の1年間でした。柏倉家を「どのように保存し、どのようにに活用していくか」のはじめの1歩に関わらせていただいたのですが、先行きが見えない中で方向性を示しながら作業をするためエネルギーを使いました。その分、様々な方から助けてもらい、1年を終えることができたのかなと感じています。

また、本当にたくさんさんの美味しいものをいただきました。改めてざっくり言うと、よく食べ、よく動き、よく考えた1年間でした。ね。

前田 自分にお疲れ様でした、という感じです。1年間あっという間でした。公私ともいろいろな方に助けていただいた1年だったなあとしみじみ思います。柏倉家に関することはもちろん、料理や

山菜、方言、風習など新しい発見ばかりで、やっぱり山形は面白いなと感じました。

■1年間、具体的にはどんな活動をされてきましたか。

左治木 非常に堅苦しくなりますが、次のようなことに取り組みました。

①柏倉家住宅（九左衛門家、惣右衛門家）の維持管理に関することを試行錯誤しながら行いました。

②収蔵資料の整理整頓
個人の民家から町の資料になったため、次のことを行いました。
▼資料に関しては所有区分が不明瞭だったため、1点ずつ仕分け作業を行う。

▼収蔵場所を決めて専用棚を作り、点在していた資料を集約する。
▼温度・湿度や天候を見ながら風通しや清掃をする。

▼敷地内にある掃除道具や工具、雪下ろし道具などの備品の置き場所を決める。

▼修繕工事、見学者の立会い。
③柏倉家保存・利活用実施計画

計画書の策定に参加し、主に資料保存、展示計画に関して携わりました。

④柏倉九左衛門家の「ひなまつり」の展示企画

例年行っている「ひなまつり」において、展示の企画とガイド養成に携わりました。

資料の整理整頓をする中で、ご当主や柏倉家に関係のあった方々などから聞き取りしたお話をもとにおひな様を組み立てたので、資料整理をしたからこそできたことかもしれません。

⑤「なかやまのなか」
協力隊2名で「なかやまのなか」というグループを作り、中山町での日々をInstagramで発信しています。また、柏倉家住宅で採れた植物や中山町内で余った果物を使って、モノ作りワークショップ（カブトムシ相撲大会・元祖芋煮会）やマルシェ（からまがるマルシェ）に参加させていただきました。

前田 利活用するにも保存するにも、柏倉家の中に何があり、どんな生活をしていたのか知る必要があると思います、各部屋の掃除・資料整理を行いました。押入れの中や

たんす
箆笥の中を開けて、モノの状態の確認・分類をし、収蔵棚に一度移すところまで1年。広いお家なのでまだ着手できていない部屋もあります。空になった大きな箆笥を動かすことで、風の通りや日の入りもよくなりました。

また、デザイン業務では、なかやま健幸くらぶやひなまつりのリーフレットの作成もお手伝いさせてもらいました。

■お話を聞いただけでも、膨大な作業量なんです。いろいろな方面から柏倉家に携わってください。たということがよくわかりました。では、そういった仕事以外でも、何か印象に残っていることはありますか。

前田 今はない道具や、建物そのものにおいても、「昔の人は頭良いな〜！」と感じるところがたくさんありました。道具そのものの機能、仕舞い方、見た目などもよく考えてあって、今もこれがあれば良いのと思うモノがたくさんあり、デザインやシステムとしても勉強になりました。

左治木

山形は食べ物が美味しいとは以前から思っていました。改めて何を食べても美味しいなど実感しました。草を食べても美味しいし、熟しすぎたさくらんぼも甘くなって美味しいし、どこをとって食べても美味しいなんて幸せすぎます。月並みな印象になってしまいました。山形に一度は住んでいた私が諸処の引越しを重ねた結果、一周回って帰る場所に戻ってきたという感じです。

■1年間やってみての課題など、これからに向けて見えてきたことなどもあるのではないですか。

左治木

昨年は柏倉家で日々やっていたことを皆さんに見える形でお知らせできていませんでした。いったい、あの黒塀の中で何を食べてばかりいるのだと思われていたかもしれませんので、もっと情報オープンにして、情報共有の時代の波に乗っていきたくと考えています。

また、自分で思っている以上にやりきれないことが多いため、今年も多くの方の猫の手を借りたかと思っています。

活動場所が3か所あること（公民館、惣右衛門家、九左衛門家）と、季節の事情により、どうしても協力隊の事務所が日々移動してしまっています。工具や仕事道具を取りに行く手間が面倒なことが多かったため、今年はどこでもできるような持ち物の管理方法を変えたいなと思っています。そういった点で、最近、キャンプ道具は素晴らしいと感じています。目指すところは、町内限定の流行りのノマドワーカー（働く場所を特定のオフィスに固定せず、カフェやレンタルスペースで仕事をしている人）でしょうか。

前田

柏倉家はずっと人が住み続けてきた家ということもあり、時代によって建物も家としてのあり方も変わり続けてきたということが1年で見えてきて、今後柏倉家をどのように定義して見せていくか、ということの難しさが今後の課題かなと思います。どこかの時代で切り取って定義してしまうのは簡単ですが、時代にに応じて変わって続けたというあり方を見せるには、すべての時代のものが残っているわけではないこともあり、どうしたらいいかなと考

えています。

■考えることもやることもまだまだいっぱいありますね。

自分たちの活動以外に、参加したり、興味を持ったりした中山町のことでありますか。

左治木

小さい町だからでしょうか、町の規模に対して歴史民俗のストーリーが多いのか一つの内容が濃いと言うか、興味深い、個人的にアツいです。郷土史研究会に入会させていただいたので、私も何か調べたいなと思っています。

前田

個人的には中山町に引越してくる前から気になっていた、岩谷十八夜観音のお祭りに参加できたことがとても嬉しかったです。あとは「大したことじゃないのよ」と言いつついろいろな特技を持っている方や活動をなさっている方がたくさんいらっしゃって、もっと時間があれば教わったり一緒に何かしたいと勝手に思っています。

■どうやらお2人にとって、中山町の歴史や文化が合っているみたいですね。

歴史以外に、中山町ってどんな町という感想を持っていますか。

左治木

住んでみてわかったことですが、たくさんありますので箇条書きにします！

▼何を食べても美味しいし、果物が豊富。

▼どこから見ても左沢線の2車両が通る風景が絵になる。

▼歴史民俗の話が面白い。

▼ほんわ館と公民館の建物の造りが素敵。

▼足湯と温泉にフラッと行ける距離感と気軽さ。

いっぱいあって、なんでこれまで中山町を通過していたのか不思議に思う時がたまにあります。

前田 濃い人がたくさんいるところ、毎日変化する山の景色、すれ違つと「こんにちは」と声をかけあえるところ、りんご、さくらんぼ、すもも、山菜、納豆汁、ゆ・ら・ら、YUKIHIRA COFFEE、



鳥の鳴き声、山形弁、夜の星空、オナカマサマ、道中たくさんあるお地藏さん、などなどたくさん！

■好きなところ、いっぱい挙げてもらってうれしいです。

左治木 面白いのは、国道や左沢線を挟んで「あっち側とこっち側」の文化が分かれている点。

■そんなふうを感じるんですね。町にいとかなか気づけないですね。

前田 道路を挟んで左右で文化が違うところ（長崎方面と岡方面）は私も思います。あとは、「普通の定義の違いや、公民館がたくさんあること、グラウンド・ゴルフが盛んなことなどは面白いですね。

■1年間の活動報告会を企画しているんですね。

左治木・前田 4月20日午後1時から、柏倉家で、私たちの報告会を行います。たくさんの方々に来ていただきたいと思っています。

■最後に、町民の方にメッセージをお願いします。



前田 はい。本当にあつという間の1年でした。お世話になった皆さんの方々、ありがとうございます！任期は最大で3年ということで、今後をどう過ごしていくのかを考えています。山形県で一番小さいということですが、まだあまり行ったことのない地域もあつたりして、一つひとつの濃密さを堪能するには時間が足りないと思つています。今後いろいろな方にお世話になるかと思つますが、よろしくお願いいたします。ぜひいろいろな方と関わられたら嬉しいなあと思つています。

左治木・前田 今年度もどうぞよろしくお願いします！

地域おこし協力隊
活動報告会

日時 4月20日(土)
午後1時

場所 旧柏倉九左衛門家

 
お気軽に
いらしてください。

